

# 職業のイメージ調査

21111016

五十嵐 まや

# 仮説

学年によって職業に対するイメージが  
変わるかどうか

# 実験方法

- 学生20人にアンケート
- アンケートの結果を因子分析
- SD法の7件法で評価

# アンケート内容

非常に かなり やや どちらでもない やや かなり 非常に

・地味な	派手な
・力のない	力のある
・よい	わるい
・若い	老いた
・強い	弱い
・美しい	みにくい
・暗い	明るい
・単純な	複雑な
・理知的	感情的
・忙しい	暇な
・かたい	やわらかい
・誠実な	不誠実な
・騒がしい	静かな
・厳しい	やさしい
・役立つ	役に立たない
・速い	遅い
・小さい	大きい
・一般的	永続的な

# 因子分析

## 2年

パターン行列<sup>a)</sup>

	因子	
	1	2
企画・マーケティング	.660	.073
販売業	.610	-.167
営業	.589	.033
サービス業	.504	-.143
コンサルティング	.433	.184
研究開発	.005	.828
SE	.094	.675
事務	-.180	.444

因子抽出法: 最尤法

回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

a. 3 回の反復で回転が収束しました。

## 4年

パターン行列<sup>a)</sup>

	因子	
	1	2
企画・マーケティング	.762	.405
コンサルティング	.650	.090
SE	.550	-.292
研究開発	.549	-.398
販売業	.086	.458
事務	.187	-.457
サービス業	-.071	.301
営業	.068	.203

因子抽出法: 最尤法

回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

a. 3 回の反復で回転が収束しました。

# 実験結果

1は頭脳系 2は対人コミュニケーション能力系に分けられる。

- ・ 4年生は就活をしていることもあり頭脳系は「企画・マーケティング、コンサルティング、SE、研究開発」、対人コミュニケーション能力系は「販売業、事務、サービス業、営業」と頭脳系・接客系と比較的分かっている。

- ・ それに比べて2年生は就活についてまだ意識していないこともあり対人コミュニケーション能力系は「企画・マーケティング、販売業、営業、サービス業、コンサルティング」、頭脳系は「研究開発、SE、事務」と職業についてまだよく分かっていないことが分かった。

# 今後について

- ・今は2年生と4年生しかアンケートを取っていないので1年生、3年生にもアンケートを取ってもっと差が出るか調べたい